

横須賀市の観光概要について

日程：令和元年10月2日（水）



文化スポーツ観光部観光課

○目標値と観光客の現状

- ・観光立市推進基本計画（H28年度～R7年度）
- ・観光立市推進アクションプラン（H29年度～R3年度）

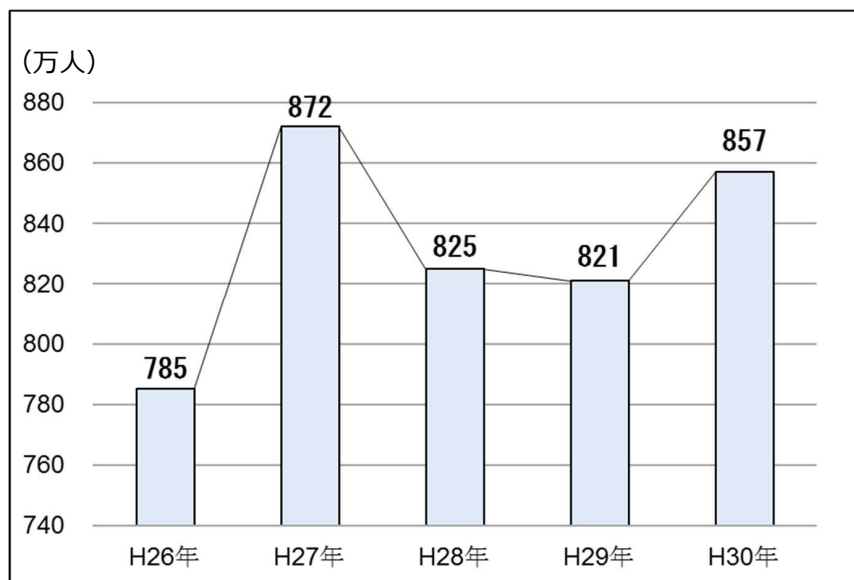
<項 目>

- ①延べ観光客数
- ②宿泊客数
- ③観光客消費額
- ④観光バス駐車台数

○延べ観光客数

実績値	(H 3 0 年)	857万人
観光立市推進アクションプラン (R 3 年)		950万人
観光立市推進基本計画	(R 7 年)	1,000万人

(延べ観光客数の推移)

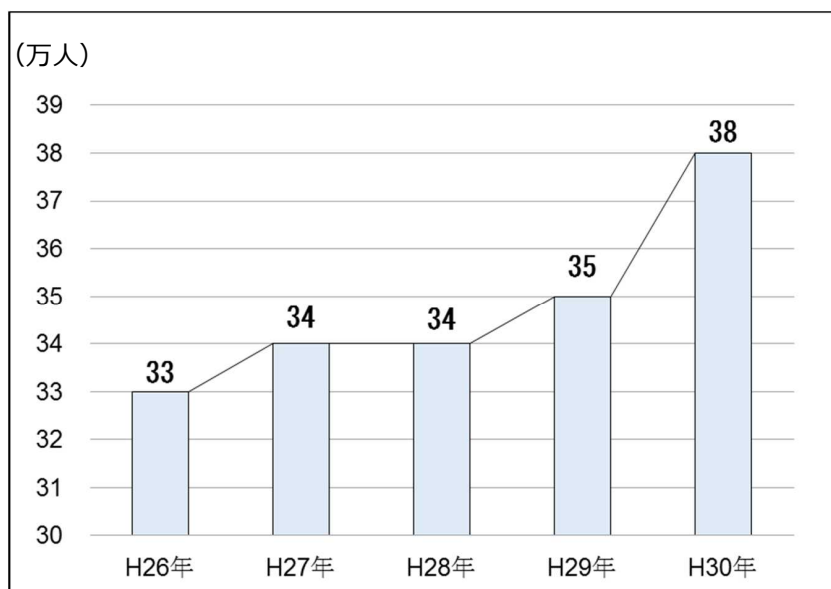


2

○宿泊客数

実績値	(H 3 0 年)	3 8 万人
観光立市推進アクションプラン (R 3 年)		4 4 万人
観光立市推進基本計画	(R 7 年)	5 0 万人

(宿泊客数の推移)

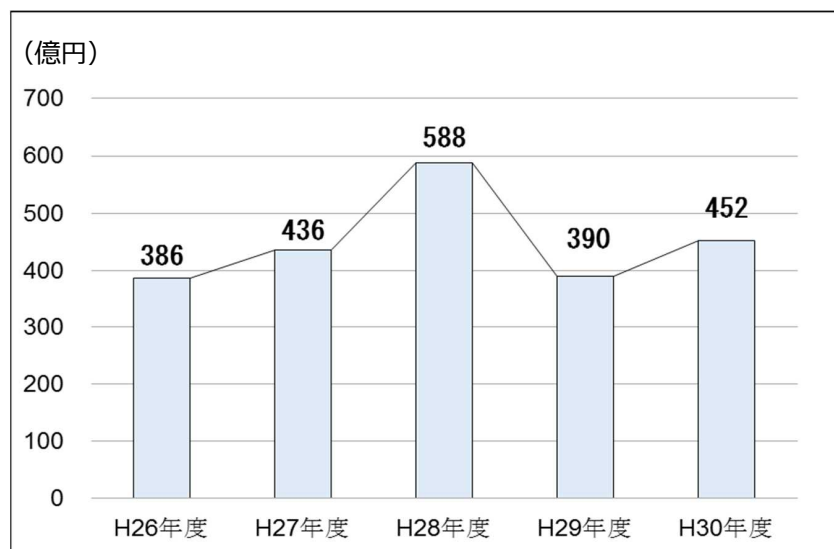


3

○観光客消費額

実績値	(H30年度)	452億円
観光立市推進アクションプラン	(R3年度)	595億円
観光立市推進基本計画	(R7年度)	636億円

(消費額の推移)

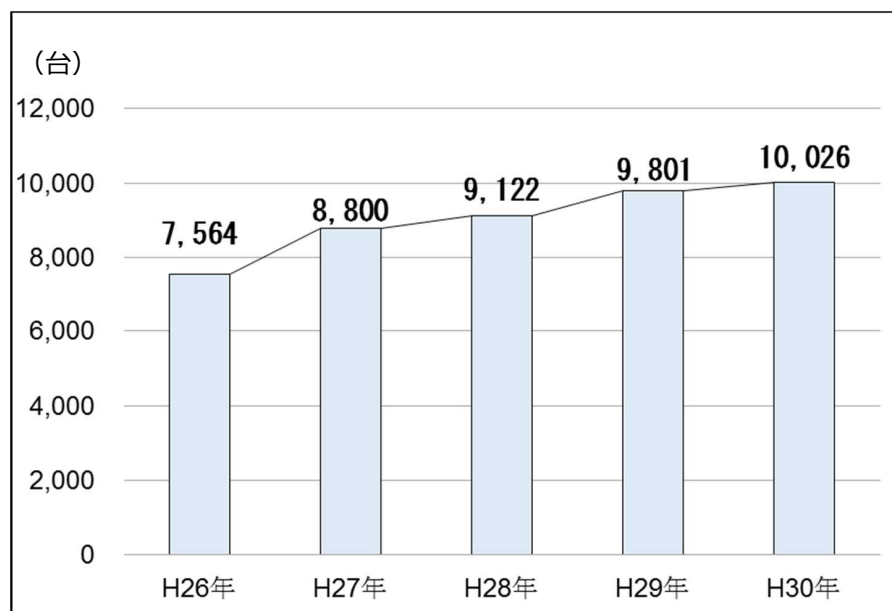


4

○観光バス駐車台数

実績値 (H30年)	10,026台
観光立市推進アクションプラン (R3年)	13,000台

(駐車台数の推移)



5

○主な観光スポットの観光客数

名 称	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対29比	対26比
三笠公園	1,819,243	2,010,644	1,963,016	1,946,846	1,949,289	100.1%	107.1%
ヴェルニー公園	1,117,041	1,118,602	967,621	1,231,681	1,428,676	116.0%	127.9%
観音崎公園	988,172	1,442,588	1,048,265	901,845	767,308	85.1%	77.6%
ソレイユの丘	482,071	634,199	659,113	651,908	756,315	116.0%	156.9%
すかなごっそ	514,184	536,013	528,804	483,852	455,968	94.2%	88.7%
くりはま花の国	372,035	342,489	367,996	403,035	416,919	103.4%	112.1%
よこすか ポートマーケット	420,005	430,959	400,324	366,891	331,624	90.4%	79.0%
YOKOSUKA軍港めぐり	180,342	198,563	228,490	243,333	257,427	105.8%	142.7%
世界三大記念艦「三笠」	228,107	248,515	252,360	239,128	237,680	99.4%	104.2%
猿島	99,675	153,129	172,849	187,485	208,140	111.0%	208.8%

6

○横須賀再興プラン（H30年度～R3年度）

■目指すまちづくりの3つの方向性

① 海洋都市

豊富な海産物、釣りやマリンスポーツに適した環境など、海に関連する地域資源を最大限に活用。

② 音楽・スポーツ・エンターテインメント都市

誰もがスポーツに親しめる環境の創出や、音楽フェスティバルの開催、ストリートライブの場の創出。

③ 個性ある地域コミュニティのある都市

小学校の施設を活用した学校・地域住民が一体となった取り組みができる拠点づくり、谷戸地域の魅力を生かした横須賀らしい楽しいコミュニティの形成。

7

1 スポーツを活用した取り組み

- プロスポーツチームとの連携
- トップアスリートと触れ合える環境の充実
- 「ウインドサーフィンのまち」としての仕掛けづくり

市外からの集客を促進するとともに、市民が楽しめる、誇りや愛着を持てる環境を充実させる

8

①ウインドサーフィンワールドカップの開催

- ・世界最高峰の大会「ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」を平成29年から津久井浜海岸で開催。
- ・三浦海岸で行う大規模音楽イベントを同時に開催。
- ・この大会をきっかけに、新たなウインドサーフィンの大会、合宿などの誘致や「ウインドサーフィンのまち」としてのイメージ発信、定住促進に向けた取り組みを進める。



○第3回大会結果概要

日 程：令和元年5月10日～15日

来場者数：約88,000人

（ 第1回：約33,000人
第2回：約49,000人 ）

出場選手：102名（33の国と地域）

9

②横浜DeNAベイスターズ

- ・横浜DeNAベイスターズの総合練習場「DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」が8月に完成。
- ・ベイスターズ、京浜急行電鉄（株）との連携協定を活用した取り組みや追浜地域の商店街と連携し、追浜エリアの集客を促進。
- ・横須賀スタジアムの年間来場者を10万人以上の集客施設へ。
- ・市全域にベイスターズファンを増やし、経済波及効果をより大きくする。



- ・駅や街中の装飾
- ・野球教室やチアスクールの開催
- ・「青星寮カレー」の学校給食へのメニュー化

10

<横須賀スタジアムアクセス道の電柱装飾>



11

③横浜 F・マリノス

- ・ J R 久里浜駅周辺にある市営公園に、横浜 F・マリノスの練習場を誘致。
- ・ 練習場の完成（令和 4 年）を機に、久里浜地域をフットボールタウンとして活性化を図る。
- ・ 練習場の年間来場者を 1 0 万人以上の新たな集客施設へ。
- ・ 市全域にマリノスファンを増やし、経済波及効果をより大きくする。



【練習場イメージ】

1 2

＜横浜 F・マリノスデザインのナンバープレートを交付＞

1 2 5 cc 以下のバイクのナンバープレートデザインとして、横浜 F・マリノスをモチーフにしたナンバープレートを交付し、広く P R。



1 3

④アーバンスポーツ（BMX、スケートボード）大会の誘致

- ・新たなスポーツ需要を掘り起こすため、エンターテインメントの要素を盛り込み、来場者が自由に楽しむことができるアーバンスポーツイベントの誘致を目指す。

⑤eスポーツの推進

- ・eスポーツ関連のイベントの開催、市内高校への導入などを進め、eスポーツの裾野を拡大する。

14

2 歴史的遺産を活用した取り組み

- 内閣府、国土交通省、文部科学省などの国と連携し、横須賀に眠る開国期からの歴史遺産を整備。

点在する近代化遺産などを活かした新たな観光拠点やストーリー性を持った周遊ルートを創出し、観光客の増加、滞在時間の延長、消費額の拡大を図る。

15

①ルートミュージアム

- ・市内に点在する近代化遺産などの整備を進め、市内全体を軍港資料館として捉えた「ルートミュージアム」を構築。
- ・日本近代化の礎となった横須賀の歴史を伝える中核拠点として、ヴェルニー公園内に、当時の建物の部材を活用した、ガイダンスセンターを整備。



【近代遺産ガイダンスセンターイメージ図】



【千代ヶ崎砲台跡】

○ルートミュージアム構想図



②日本遺産構成文化財

- ・平成28年に「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」が日本遺産に認定。
- ・旧軍港四市（横須賀・呉・佐世保・舞鶴）で連携を図り、日本遺産構成文化財を活用した取り組みを推進。



【スチームハンマー】



【世界三大記念艦「三笠」】

18

③第二海堡上陸ツアー

- ・明治時代に首都防衛のために海上要塞として建設された「第二海堡」。
- ・平成31年3月下旬より旅行業者からツアー企画の受付を開始し、4月から上陸ツアーを実施。
- ・港湾関連の公的施設を観光目的として一般公開することは、第二海堡が初の事例。

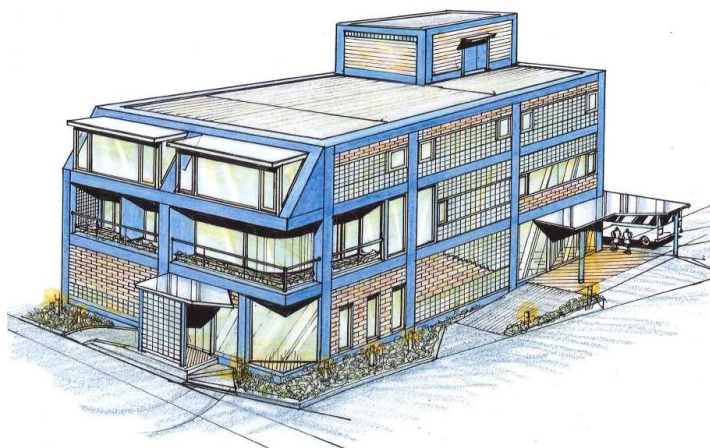


【第二海堡航空写真（国土交通省提供）】

19

④（仮称）猿島ビジターセンターの整備

- ・ 京浜急行電鉄（株）、（株）トライアングル、横須賀市が連携して整備。
- ・ 猿島の情報のほか、日本遺産構成文化財、市内の観光情報を発信。
- ・ 令和2年の夏にオープン予定。



【イメージ図（（株）トライアングル提供）】

20

3 エンターテイメントを活用した取り組み

- 猿島など横須賀の地域資源を生かした、「音楽」「アート」「ダンスイベント」の開催。
- アニメ・漫画・ゲーム・クリエイターとのコラボ企画を実施。

これまで、横須賀に興味のなかった方々、一度も足を運んでいない方々など、新たな客層の獲得を目指す。

21

①Pokémon GO Safari Zone in 横須賀の開催（平成30年8月）

- ・世界的人気をほこる「ポケモンGO」のイベントをドルトムント（ドイツ）、シカゴ（アメリカ）に続き誘致を実現。
- ・8月29日（水）から9月2日（日）の開催期間中、約20万人が横須賀を訪れた。



22

②アニメONE PIECE×YOKOSUKA×KEIKYU120周年イベントの開催（令和元年7月～10月）

- ・作品の世界観と、海と豊かな自然に恵まれた横須賀市のロケーションからくるイメージ、世界観が重なっていることなどから実現。
- ・東映アニメーション（株）、京浜急行電鉄（株）、（株）トライアングル、横須賀市が連携して、人気アニメ「ONE PIECE」と地域のグルメや観光資源をコラボレーションする企画を実施。
- ・猿島や横須賀中央周辺でワンピースにまつわる装飾やスタンプラリーなどを実施するほか、コラボグルメの提供やステッカーの配布などを行い、国内外の幅広い世代のファンにPR。



© 尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション

23

③ヨコスカ恐竜パーク2019

- ・屋外では初の大型恐竜展をうみかぜ公園で開催中。
- ・ティラノサウルスをはじめとした恐竜や多種多様な植栽による演出で臨場感のある空間を創出。
- ・近隣施設での割引企画なども実施し、滞在時間の延長、観光消費額の拡大を図る。



○開催結果概要

<開催期間>

7月13日～9月8日

<来場者数>

81,000人

24

④ヨコスカ街なかミュージック

- ・常に音楽にあふれたワクワクする街を目指し、街なかをステージとした音楽ライブを実施
- ・音楽ライブ実施場所の拡大、常に音楽を奏でることができる場所の設置に向けた取り組みを推進。
- ・横須賀中央に加え、追浜、衣笠、久里浜にエリアを拡大し、音楽ライブを実施。
- ・ヨコスカ街中ピアノを演奏された方が、動画をアップロードしたところ再生回数が200万回を超えるなど、大きな反響を呼んでいる。



【音楽ライブ】



【ヨコスカ街なかピアノ】

25

⑤myblu presents Good Music Party in Sarushima

-10 Summer Days-

- ・ 昨年に引き続き、エイベックス・エンタテインメント（株）と連携し、夜の猿島で音楽イベントを開催。
- ・ 音楽、ディナー、サンセット、夜景、自然が楽しめるロケーションで、普段味わえない至極のバカンスを提供。

○開催結果概要

<開催日数> 9日間

<来場者数> 4, 500人



26

⑥サブカルチャーの活用

- ・ 横須賀にゆかりのあるアニメや漫画、ゲームとのタイアップを実施。
- ・ 作品内で横須賀の露出を増やすことで、集客に繋げる。
- ・ 横須賀に来たことがない層へ情報発信を行うことにより、新たな来訪者の獲得を目指す。



【ハイスクール・フリート】

27

4 そ の 他 の 取 り 組 み

28

〇インバウンド事業の推進

①観光施設を紹介する多言語サイトの開設

市内の観光スポットを、写真、説明文、位置情報により紹介する多言語サイト「ガイドアYOKOSUKA」の開設。
(YOKOSUKA軍港めぐり、記念艦「三笠」、猿島など)

②文化庁と連携した取り組み

「日本博英語版サイト」トップページへの猿島の掲載や補助金を活用した猿島でのアートイベントなどの開催。

③中心市街地のWi-Fi環境の整備

三笠公園に加え、ドブ板通り商店街・三笠ビル商店街・若松商店街にWi-Fi環境を整備。
久里浜と衣笠の商店街も今年度中に整備予定であり、市内の多くの場所でWi-Fi環境を整備。

29

○インバウンド事業の推進

④はとバスによる都内からの直通バス運行を開始

都内（東京駅、新宿駅）を出発し、猿島、記念艦「三笠」、YOKOSUKA軍港めぐりなどを行き先としたバスが、11月から土、日、祝日に運行を開始。

⑤外国人向けのお土産の制作

30

○学会・スポーツ大会の誘致

- ・ 情報通信・海洋・エネルギー関連の研究施設や医療・福祉大学等の教育機関が多く立地。
海洋・アウトドアスポーツに適した環境。
- ・ 学会や大規模スポーツ大会の誘致を効果的に行い、宿泊、飲食、観光等に伴う経済効果、ブランドイメージの向上を目指す。

<主な実績>

[学会]

名 称	人数	関係機関
日本医療マネジメント学会第18回神奈川県支部学術集会	700人	横須賀共済病院
第46回「これから栄養士になる人の集い」	1,000人	県立保健福祉大学

[スポーツ大会]

名 称	人数
全国女子中学生硬式野球選手権大会	960人
三笠艦記念スポーツひのまるキッズ関東小学校柔道大会	2,000人

31

○新規ホテルの建設

- ・市有地の旧三笠駐車場用地（小川町２番１３）に新たなホテルを建設。

＜ホテル施設整備事業者＞

「株式会社ホテル横須賀」

- ・１９５７年より市内で宿泊事業を展開。
- ・現在市内に２つのホテルを経営。

【事業コンセプト】

- ①横須賀に新しい宿泊観光客を呼び込む
- ②全室スイートルーム仕様
- ③横須賀観光の拠点となるホテル
- ④地域との共存共栄

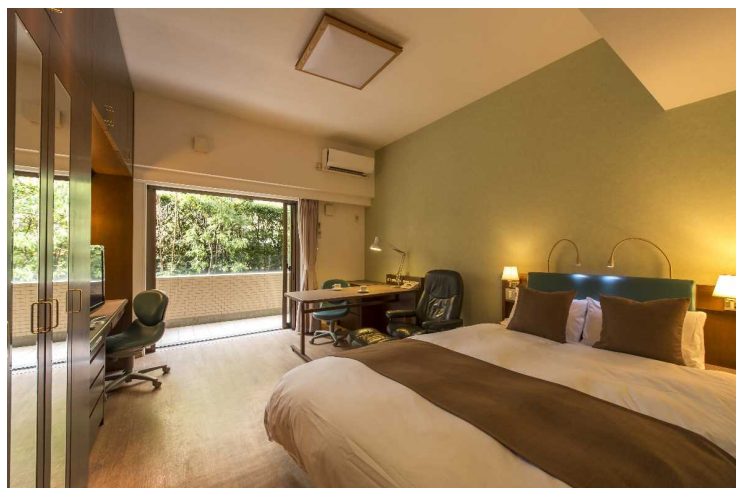
32

＜ホテル概要＞

- 階数：地上１４階、地下１階（約４４．５㎡）
- 客室数：１５５室（ツイン１２２室、ダブル３２室）
- 客室面積：約３５㎡～３８．５㎡（スイートルーム仕様）
- 想定客室単価：１室１５，０００円（税別・食事なし）



【外観イメージパース】



【客室イメージパース】

33

○よこすかポートマーケットのリニューアル

- ・市が跡地活用に係る調査を実施した結果、既存建物をリニューアルして運営できる可能性を確認。
- ・建物所有者の「（一財）シティサポートよこすか」が新たな運営事業者を公募。
- ・民間事業者の運営による観光集客の核となる施設へ。



34

○横須賀港～北九州港 新規フェリー航路開設計画

- ・横須賀市、北九州市及びフェリーを運航するSHKライングループが連携して航路を開設。
- ・関東圏と九州圏を海で結ぶ物流と旅客の大動脈が形成。

【概要】

＜開設時期＞

令和3年（2021年）春

＜運行スケジュール＞

2隻体制

1日1便デイリー運行（日曜日を除く週6便）

＜乗客定員＞

300人～500人（予定）

＜所要時間＞

20時間30分

35